

ビオトープだより第51号

会員・BAより ビオトープに関する情報を提供します。

特定非営利活動法人
日本ビオトープ協会
<https://www.biotope.gr.jp/>

1. 中金小学校の150周年記念式典にて「ビオトープの今後」と題して BA (株)鈴鍵 加藤太志

昨年の2024年3月、愛知県豊田市立中金小学校にビオトープが完成しました。このビオトープは、中金小学校150周年記念行事のひとつとして、ホタルが舞う学校をつくりたいと校長先生からお話を頂いて、創られることとなったビオトープです。

2024年6月には、完成報告会とホタル観賞会にて「ビオトープができるまで」をお話しさせていただき、完成までの経過を説明してきました。そして2025年2月1日に行われた150周年記念式典にて「ビオトープの今後」と題して講義をさせていただきました。式典には小学校の子供たちや親保護者の方、それに地域の方もたくさん来られており、ビオトープの1年間の経過を写真で見てもらおうとともに、今後このビオトープがどのようなようになってほしいかなどを、多くの方に聞いて頂くことが出来ました。



150周年記念式典にて講義の様子

中金小学校の周辺地域ではホタルを見ることが出来るのですが、その数は減ってきており、小学校ではホタルの飼育など保護活動を長年にわたり地域の方と一緒にしてきました。その飼育したホタルをビオトープに放流するなど、ビオトープが出来たことで保護活動の幅も大きく広がって地域住民と学校の繋がりの場にもなっています。これから中金小学校のビオトープが10年、20年と続くように、小学校の先生方や子どもたち、地域の方と一緒に、ホタルや多くの生物が住み着くすばらしいビオトープに成長させていきます。



ビオトープ全体写真(R6年6月)



ビオトープ池部写真(R6年12月)

2. 「第14回クボタ・毎日地球未来賞受賞式」 注目された岩手のピオトープ 活動 会員 臼澤良一（三陸自然学校大槌 代表）



一般の部準大賞《クボタ賞受賞》
大槌町郷土財湧水エリアピオトープ「三陸自然学校
大槌 ミズアオイの池をみんなで守る会」
学生の部大賞《毎日地球未来賞受賞》
岩手県立花巻農業高等学校 ソーセージ研究班



(授賞式 Youtube)



活動報告する三陸自然学校大槌 臼澤良一代表
(写真提供：毎日新聞)



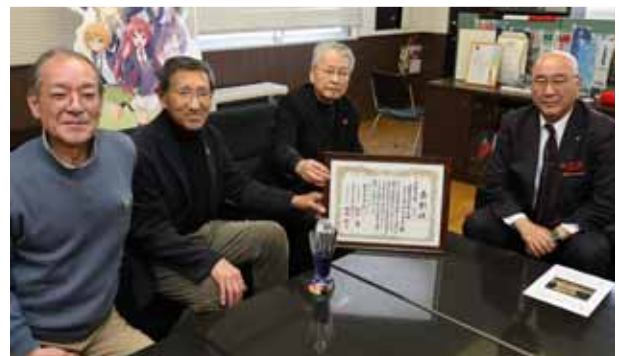
(株)クボタ 吉川正人取締役からクボタ賞授与
(写真提供：毎日新聞)

ピオトープだより49号でご報告した授賞式が、大阪オーバルホールで盛会に挙行されました。

去る2月22日(土)毎日新聞大阪本社オーバルホールにおいて、表記授賞式及び活動報告会、トークセッションが一般受賞者2団体、学生受賞者10校が参集、7名の選考委員も出席して開催されました。YouTubeで同時配信される中で、次々と素晴らしい活動が発表されました。震災被災地からは、1件の応募となった自然環境再生の活動は、大津波によって出現した希少なミズアオイに注目して、震災の記憶を後世に伝えるため行政、地元住民、NPO、大学、学生など多様な立場から参画する「守る会(代表臼澤良一氏)」の地道な活動と、制作中の「奇跡の復興米紙芝居」で次世代を担う学生の防災普及活動につなげようとの取り組みが感動をもって高く評価されました。

一般の部38件・学生の部76件 計114件の応募の中から今回の受賞となりました。

受賞報告に伺った大槌町の平野公三町長からは、「ミズアオイの池をみんなで守る会」の皆さんの活動が高く評価され、これを機会に一層大槌町の自然環境保全に力を注ぎたいとお話がありました。



大槌町平野公三町長(右)に受賞報告する臼澤代表(左から2人目)・活動支援する環境パートナーシップいわて森事務局長(左)